

感震ブレーカー

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災など、地震による火災の約6割は電気が原因と言われています。これらの火災を防止する手段のひとつが、地震の強い揺れを感知して、電気を自動的に遮断する「感震ブレーカー」です。

大きな地震が発生したとき、外出中や緊急に避難するとき、ブレーカーを落としたり、電気製品のコンセントを抜けない場合でも電気火災を防止する有効な手段です。

タイプ	コンセント型		簡易型	分電盤型	
	特定機器遮断型	一括遮断型		内蔵型	後付型
イメージ					
特徴	内蔵されたセンサー等が揺れを検知し、設置したコンセントからの通電を遮断	センサーが揺れを検知し、疑似漏電を発生させブレーカーを切ることで通電を遮断	ばねの作動やオモリの落下によりブレーカーを切ることで、通電を遮断	内蔵されたセンサーが揺れを検知し、主幹ブレーカーを切って通電を遮断	分電盤に感震センサーを後付。分電盤に漏電ブレーカーが付帯している場合に設置可能
遮断範囲	選択した機器のみ		屋内全ての電気供給		
設置工事	不要	製品による	不要	必要	
遮断までの時間	なし		あり・なし <small>※製品によって異なる</small>		あり（3分程度）

「感震ブレーカー」には、「コンセントタイプ」「簡易タイプ」「分電盤タイプ」等の種類があります。

京都市西京消防署

地域のお宝情報

第16回 西京区認知症区民公開講座 「チームオレンジ」としたいことができるわたし

基調講演1 「周りの人と明るく楽しく過ごせるように
-宇野田サロンの実践から-」

講師：宇野田 祥子氏（京都府認知症応援大使）

インタビュアー：細井 妙子氏（グループホーム四条大宮管理者）

基調講演2 「チームオレンジとは
-京都市での実践報告-」

前川 弘美氏

（京都市認知症サポーター活動促進コーディネーター）

パネルディスカッション

「認知症になっても暮らしやすい西京区」

9月6日（土）定員400名

会場：西文化会館ウエスティ ホール

申込先 令和7年8月19日（火）までに

FAXまたは電話、QRコードにて

氏名・電話番号をお知らせください。



問合せ 西京区在宅医療・介護連携支援センター

（TEL ☎075-874-7708 FAX 〇075-874-6277）

- 今月の事業所紹介 - 訪問介護まごのて嵐山

障がいのある方も高齢者の方も
住み慣れた地域でその人らしく！を理念に
介護福祉士やホームヘルパーが
ご自宅を訪問し、自立した在宅生活を
送れるようお手伝いさせていただきます



〒616-0016

京都市西京区嵐山上海道町46番地3

TEL ☎ 075-279-0039

6月号の記事の「1リットルの経口補水液の塩の量」
に誤りがございました。

正しくは、大さじ1/2杯 ⇒ **小さじ1/2杯** です。
ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ございませんでした。